

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 29 年 6 月 25 日現在

機関番号：13801

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26381259

研究課題名(和文) 養護教諭の専門性を支える「養護学」体系の構築

研究課題名(英文) Development of Science of Yogo framework that supports the professionalism of Yogo teachers.

研究代表者

鎌塚 優子 (KAMAZUKA, YUKO)

静岡大学・教育学部・准教授

研究者番号：80616540

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は養護教諭の専門性を支える「養護学」の学問体系の基盤となる理論を抽出することである。文献調査及び養護学に精通する専門家の講話及び講話を基に養護学構築のために必要な要素について議論を行い、それらの内容を講話集としてまとめた。また、養護教諭養成大学の教員へのインタビュー調査を実施し、文献調査等の結果と合わせこれらの知見を基に養護教諭養成の教育で使用する「教科書の試案」を考案した。さらに「教科書の試案」を使用して教えるためのチューターブックを作成した。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to extract a theory that serves as a basis of academic framework of "Science of Yogo (school nursing)" which supports the professionalism of Yogo teachers. We conducted a literature search and gathered lectures from the specialists who are specialized in Yogo. Based on the gathered lectures, we conducted a discussion about the requirements for developing the science of Yogo and gathered all the details in a lecture note. Also, we conducted interviews to teachers in Yogo teacher training college and gathered all the knowledges including the results from the literature search to draft a textbook that will be used at Yogo teacher trainings. Moreover, we developed a tutor book for the drafted textbook.

研究分野：養護実践学

キーワード：養護学 学問体系 養護教諭養成

## 1. 研究開始当初の背景

養護教諭養成教育において、「養護概説」は教育職員免許法、養護に関する科目であり、養護教諭養成において根幹となる科目である。養護教諭のアイデンティティを構築するための基盤となる科目であり、その後のキャリア形成においても土台となる最も重要な科目であると位置づけられる。養護教諭の職務は、学校教育法第 37 条によって「児童の養護をつかさどる」と定められている。

しかし、この他にその職務について定めた法規、通達がないため、これまでこの「養護」をめぐって、「養護教諭の専門性とは何か」「養護教諭の役割とは何か」が問われ続けてきた。その背景には、養護教諭は専門職であるとされながら、独自の学問的な基盤がなく、その養成においては看護学等を主に、近接領域の学問を参考にしながら、職務を遂行する上でもその技術や方法論を援用してきた経過がある。しかし、学校教育の場においては養護教諭の活動に看護とは異なる理論及び実践の根拠が存在するのではないかという議論は以前からなされてきた。しかしそれらを明らかにしようとする研究は少なく、これまでは養護教諭養成に関わる教員らによって個々に「養護」の概念について議論されてきたのみである。近年、日本教育大学協会全国養護部門研究委員会においても、養護教諭養成におけるコア・カリキュラムの検討が行われてきているが、「養護」とは何か、その「中核」は何かという議論はされていなかった。養護教諭の「養護をつかさどる」という実践の「コア」となるものは何かということをも明らかにした上で、養護教諭養成における「養護概説」でどのような内容をどのように教えるかを再構築する必要がある。

## 2. 研究の目的

養護教諭の養成教育において、教育職員免

許法「養護概説」は、不可欠かつ根幹にかかわる科目である。学校教育上、養護教諭は「養護をつかさどる」とされているが、この「養護」という言葉の曖昧さから、「養護をつかさどる」という意味が多様に理解されている。そのために、専門性を向上させるための指針を示すことや学問的基盤を築くことを困難にしている。ひいては、養護教諭の実践も、養護教諭の個性にゆだねられている点が多い。そこで、本研究では、第 1 に養護教諭の「養護をつかさどる」という実践の「コア」となるものは何かということをも明らかにし、第 2 に養護教諭養成における「養護概説」でどのような「中核となる内容」を、そして第 3 に「どのように教えるか」ということを実践力の向上という視点から再構築することを目的とした。

## 3. 研究方法

(1)「養護教諭の実践のコア」ならびに、「養護概説で教えるべき中核となる内容」の抽出～免許法科目「養護概説」の教科書の章立てのための試案～

時期：2014 年 4～10 月

方法：養護教諭の「養護をつかさどる」という実践の「コア」となるものは何かということをも明らかにするために、次の 2 つの方法を用い文献調査を実施した。

医学、看護学など近接領域の学問体系の枠組みや内容について、定義、学問を構成する諸概念、理論、理論の発展過程を軸とした文献調査。  
養護教諭関連の学会で議論されてきた養護学の枠組みに関連する文献及び養護学構築に関連する文献調査。

(2)養護教諭養成における「養護概説」で教えるべき内容の抽出

時期：2014 年 11 月～2016 年 3 月

方法：養護教諭養成における「養護概説」でどのような内容を教えればよいのかその「養護教諭の専門性を支えるために必要な中核となる内

容」を次の3つの方法で抽出した。

これまでの研究経過において入手している「養護」に関わる教育職員免許法科目である「養護概説」シラバス調査を基に、議論し、教える内容の「コア」となる柱及びその内容について議論を基に抽出、整理した。

養護学及び養護教諭養成に精通している専門家5名を対象とし、「養護学を構築する上で、これまでどのように考え、養護教諭養成に携わってきたか、そしてこれまでの研究経過、成果等」もふまえての講話を依頼し、その内容を録音後、逐語化した。またその講話を基に、教育系、学際系、看護系の研究者らが、「養護教諭の専門性を支える「養護学」体系構築に向けて重要な要素とは何か」について、ディスカッションを行い、その内容も記録し専門家の講話と共に整理しまとめた。

(1)の文献調査及び専門家による講話、ディスカッション、インタビュー調査で深めた内容を基に研究者間でディスカッションを繰り返し、教える内容の「コア」となる柱を抽出した。それらの結果を下に教える内容を整理し教科書の試案を作成した。

#### (3) 養護概説を教えるためのチューターブックの作成

時期：2016年4月～2017年1月

方法：「養護概説」を担当している看護系、教育系、学際系の教員にグルーピングインタビュー及び個人インタビューを実施、その記録を基にそれらの知見もふまえ、「どのように教えるか」について、その方法や展開、留意点について議論を重ね、議論の記録を基に養護概説を教えるためのチューターブックを作成した。作成方法は議論によって作成の留意点について抽出しそれらに基づき15名の研究者が分担し作成した。

#### ・倫理的配慮

研究対象者へは、研究の趣旨説明を行い、プライバシー・保護・個人情報の取り扱い、個人情報保護の方法について及び研究結果

の公表方法について十分な説明を行い、同意を得た上で実施した。

## 4. 研究成果

(1)「養護教諭の実践のコア」ならびに、「養護概説で教えるべき中核となる内容」の抽出～免許法科目「養護概説」の教科書の章立てのための試案～

「養護をつかさどるといふ養護教諭の実践のコア」ならびに、「養護概説で教えるべき中核となる内容」を抽出し、これを免許法科目「養護概説」の教科書に掲載する章立てとその内容の試案とした。(表1)

表1 教える内容の「コア」及び内容～教科書に採用すべき章立て及び内容の「試案」～

	章立て	内容
養護学概論	(1)養護の本質と概念 養護とは	養護 養護教諭が担う養護
	(2)養護教諭の専門性	専門性 養護教諭の歴史制度の沿革、役割の変遷 養護教諭の免許と養成制度・現職研修
	(3)子どもの発達と健康	子どもの発達と健康課題の特徴 発達のステージにおける教育と健康
	(4)養護教諭と学校保健活動	学校保健活動 学校保健計画
	(5)養護教諭と保健室・保健室経営	保健室の位置づけと役割 保健室という場の特性 保健室の経営
	(6)養護活動の過程	教育における養護活動の位置づけ 養護活動の過程 養護活動の記録
	(7)協働・連携並びに組織活動	学校における協働・連携 関係職員・関係機関 学校の組織活動
	(8)養護教諭が行う研究	養護教諭が研究する意義とは 研究とは 養護教諭の研究の種類と方法 養護教諭の事例研究 研究の進め方
	(9)養護教諭の倫理	倫理を学ぶ意義 子供の権利と法的根拠 養護教諭の倫理をふまえた実践

	(10)学校の特性に応じた養護活動	学校種による養護活動の特徴 学校規模に応じた養護活動 地域の特性に応じた養護活動 養護教諭の複数配置
	(11)特別支援教育と養護教諭	特別支援教育とその対象 特別支援教育における保健管理・保健教育
	(12)養護教諭と学校安全・危機管理	安全と危機管理の考え方 学校安全・学校安全活動 生活安全 交通安全 災害安全
養護活動論	(1)健康観察	学校における健康観察 健康観察における養護教諭の役割 健康観察の実際 健康観察の評価
	(2)健康診断	学校で行われる健康診断 健康診断の事後措置 健康診断結果の活用
	(3)健康相談・保健指導	学校における健康相談・保健指導の基本的な考え方 養護教諭が行う健康相談・保健指導 学級担任が行う健康相談・保健指導 学校医・学校歯科医・学校薬剤師が行う健康相談・保健指導
	(4)健康教育	学校における健康教育 学習指導要領と教育課程 養護教諭が健康教育に関わる場面・機会
	(5)課題に応じた養護活動	学校救急処置 慢性疾患の子どもへの対応 心の課題のある子どもへの対応 対人関係上の課題のある子どもへの対応 生活上の課題のある子どもへの対応 保健室登校の子どもへの対応
	(6)感染症予防	感染症と伝染性疾患 学校保健における感染症対策 感染症発生各期における養護教諭の活動
	(7)学校環境衛生活動	学校環境衛生活動と養護教諭 学校環境衛生活動の実際

その後、試案を基に研究メンバ - 及び有志によって教科書の作成を行った。

## (2)養護学、養護教諭養成に関わる専門家の講話集の作成

5名の養護学、養護教諭養成に関わる研究者の講話及びその講話を基に、教育系、学際系、看護系の研究者15名でディスカッションした内容を講話集としてまとめた(表2)。

その内容の一部について次に示す。「養護は教育の基盤」であること、「養護を通じて

人間形成を行っている」養護という言葉を大切にすること(大谷)、養護を考える上で、実践を支える「養護の原理」を追求することの重要性(盛)、「歴史の中での養護の捉え方」の理解、養護学体系構築に向けて「これからの社会のあり方を考慮しつつ養護学の方向性のビジョンを明確にする」(七木田)養護教諭の実践理論の構築に向けて「実践の積み重ねと理論生成」を行うことでの専門性を追求(藤田)。

「養護とは自立に向けてケアと発達支援をしていく教育実践である」(中安)など専門家による講話から養護教諭養成の基盤となる重要な要素について、議論に基づき再確認された。

表2 講師及び講話のテーマ

講師	テーマ及び実施年月日 実施会場
養護実践研究センタ - 代表・茨城大学名誉教授・大谷尚子氏	「養護学について考えてきたこと」 2014年11月3日 2015年2月23日 キャンパスイノベーションセンタ - 東京
元弘前大学教育学部教授・盛昭子氏	「養護の本質を求めて」 2015年6月20日 藤田記念庭園第二会議室
埼玉大学教育学部准教授・七木田文彦氏	「養護教諭の誕生」第一部「養護のとらえ方 歴史の中で」第二部「養護指導はその時代をどう生きたかー養護指導の誕生と量的拡大過程ー」 2015年9月7日 埼玉大学 教育学部
一橋大学名誉教授 藤田和也氏	養護教諭の実践理論の構築に向けてー「専門性の追求」に触れつつー」 2015年12月19日 キャンパスイノベーションセンタ - 東京
元徳島大学総合科学部・徳島文理大学教授 中安紀美子氏	養護教諭の新たな一歩に向けてー専門性構築のための提言 2016年3月15日 キャンパスイノベーションセンタ - 東京

## (3)養護概説を教えるためのチューターブックの作成

養護教諭養成において、「コア」となる内容を確実に教授していくためには、どのように教えるか、方法論の確立が不可欠である。教科書の試案に基づき、方法論を考案しチューターブッ

クとしてまとめた。今後、養護教諭養成において、養護概説を教授する際に活用されていくことによって、養護教諭の専門性を支える上で重要な役割を果たしていくことが推察される。

### チューターブックの構成

授業テーマ(題材) 到達目標(評価基準)

授業の概要 本時の活動 指導のポイントと解説 学生の評価方法 板書計画 参考資料・文献 ワークシート 予習課題 パワーポイント資料等。内容については表3に示す。

### チューターブック作成の留意点

#### 【養護教諭養成の根幹に関わる教育内容】

「養護の本質」に関わる内容、養護教諭の歴史的変遷」について授業の冒頭で明確に押さえる。

「養護」という言葉を大事にする。

全ての講義において養護観及び教育職としての養護活動を意識した展開とする。

#### 【方法・展開】

さまざまな養成系での活用、カリキュラムに対応できるように講義を15回で構成する。

能動的な学びが可能となるように全ての講義において、次時につながるように事前の予習課題を設定する。

根拠に基づいた指導のポイントの明確化。

到達目標を明確に示し、さらに具体的な評価方法を明記する。

教える内容の根拠となる資料及び文献を明記する。

表3 チューターブックの内容

講義名	講義内容
養護の本質と概念 養護とは 養護教諭の専門性	・養護の本質と概念・養護教諭の担う養護・養護教諭の専門性・養護教諭の歴史、制度の沿革、役割の変遷・養護教諭の免許と養成制度・現職研修
子どもの発達と健康	・子どもの発達と健康課題の特徴・各期における教育と健康(幼児期・学童期・思春期・青年期)
養護教諭と学校保健活動・養護活動の過程	・学校保健活動・学校保健計画・養護活動の過程・ニーズアセスメント・養護活動の記録・養護活動の評価
養護教諭と保健室・保健室経営	・学校における保健室の位置づけ・学校における保健室の場・機能の特性・保健室経営
健康診断	・学校で行われる健康診断・健康診断の事後措置・健康診断結果の活用

講義名	講義内容
健康観察	・健康観察の内容・機会・方法・健康観察における養護教諭の役割・子どもに健康に関心を持たせ自己管理能力の育成を図る健康観察
感染症予防	・感染症の予防対策
学校救急処置	・養護教諭が行う学校救急処置の考え方・学校管理下で起こりやすい傷病・学校救急処置の具体的な流れ・適切な救急処置を行うための基礎知識
課題(問題または子どものニーズ)に応じた養護活動 特別支援教育と養護教諭	・慢性疾患を抱えた子どもに対する対応(学校生活において病気の子どもがどのような状況にあるかについての理解、子供にとって必要な支援や望ましい学校・社会の在り方、病気の子供の現状と課題) ・心の課題を抱えた子ども理解と心のケア(子供の心の発達段階と課題の理解、学齢期に生じやすい子供の健康課題、心の健康課題に対する地域社会資源)・インクルーシブ教育と養護教諭
健康相談・保健指導	・学校における健康相談・保健指導の基本的な考え方・養護教諭の行う健康相談・保健指導・問題背景の分析、解決のための支援及び家庭や学校内外の関係者、機関との連携
健康教育	・保健学習・保健指導(個別・集団)の特徴・養護教諭が健康教育に関わる意義・養護教諭の専門性が活かされる機会、場面・教育課程、学習指導要領の理解
連携・協働並びに組織活動	・連携・協働における養護教諭の役割・連携・協働における校内外の関係職員・関係機関・学校保健に関わる組織活動
養護教諭と学校安全・危機管理	・安全と危機管理の考え方・学校安全計画・学校安全活動・事故、事件、災害時の対応・災害時の養護教諭の機能と役割の変遷・感染症の危機管理
学校環境衛生活動	・環境整備と健康・学校環境衛生活動の流れ・日常点検と定期検査、臨時検査・養護教諭が学校環境衛生に関わる意義・学校環境衛生活動の流れ
養護教諭の研究	・研究の基本を理解・養護教諭が研究を行う意義・研究デザイン・研究計画の構成要素
養護教諭の倫理	・子どもの権利について理解 ・養護教諭の職務遂行の基盤となる倫理の原則、養護教諭の倫理について理解 ・養護実践における倫理的課題や対処方法、専門職としての役割、倫理的責任

### 今後の課題

今回の研究では、養護教諭の「養護をつかさどる」という実践の「コア」となるものは何かということをはっきりと明らかにすること、養護教諭養成における「養護概説」でどのような「中核となる内容」をそして「どのように教えるか」ということについて、教えるための教科書の章立て、内容の試案及び中核となる内容の基盤となる専門家の講話とそれらを基に議論した内容を講話集として、さらに教え方の方法論としてチューターブックを作成することによって報告することができた。しかし、これらは未だ「養護学」の構築に向けての基盤づくりに留まっている。今後はこれまで得られた研究成果を基に研究を

継続し「養護学」体系の具体的な枠組みを明確にし、学問の構築を目指すことが喫緊の課題である。

## 5. 主な発表論文等

〔学会発表〕(計1件)

三森寧子他、養護教諭養成大学における「養護概説」開講の現状と課題、日本健康相談活動学会第11回学術集会抄録集、(愛知学院大学名城公園キャンパス、愛知県・名古屋市) 2015、84-85

〔図書〕(計1件)

岡田加奈子、河田史宝編、鎌塚優子他、養護教諭のための現代の教育ニ - ズに対応した養護学概論 理論と実践、2016、251、東山書房

〔その他〕(計2件)

鎌塚優子編：講話集「養護教諭の専門性を支える「養護学」体系構築に向けて」5編・「養護学について考えてきたこと」

大谷尚子氏 2017

・「養護の本質を求めて」盛昭子氏 2017

・「養護教諭の誕生」第一部「養護のとらえ方 歴史の中で」第二部「養護訓導はその時代をどう生きたかー養護訓導の誕生と量的拡大過程」七木田文彦氏 2017

・「養護教諭の実践理論の構築に向けてー「専門性の追求」に触れつつー」

藤田和也氏 2017

・「養護教諭の新たな一歩に向けてー専門性構築のための提言」中安紀美子氏 2017  
養護概説を教えるためのチューターブック

鎌塚優子他：養護教諭のための現代の教育ニ - ズに対応した養護学概論 理論と実践に対応したチューターブック 静岡大学教育学部 養護教育専攻発行 2017

## 6. 研究組織

(1)研究代表者

鎌塚 優子 (KAMAZUKA, Yuko)

静岡大学・教育学部・准教授

研究者番号：80616540

(2)研究分担者

朝倉 隆司 (ASAKURA, Takashi)

東京学芸大学・芸術科学系養護教育講座・教授

研究者番号：00183731

池添 志乃 (IKEZOE, Shino)

高知県立大学・看護学部・教授

研究者番号：20347652

岡田 加奈子 (OKADA, Kanako)

千葉大学・教育学部・教授

研究者番号：10224007

上村 弘子 (KAMIMURA, Hiroko)

岡山大学・教育学部・准教授

研究者番号：4055348

河田 史宝 (KAWATA, Hitomi)

金沢大学・学校教育系・教授

研究者番号：10451668

小林 央美 (KOBAYASHI, Hiromi)

弘前大学・教育学部・教授

研究者番号：00419219

齊藤 千景 (SAITOU, Chikage)

十文字学園女子大学・人間生活学部・准教授

研究者番号：50618163

齊藤 理砂子 (SAITOU, Risako)

聖学院大学・人間福祉学部・准教授

研究者番号：90634907

鹿野 裕美 (SHIKANO, Hiromi)

宮城大学・看護学部・准教授

研究者番号：40510631

竹鼻 ゆかり (TAKEHANA, Yukari)

東京学芸大学・芸術科学系養護教育講座・教授

研究者番号：30296545

三森 寧子 (MITSUMORI, Yasuko)

聖路加国際大学・看護学部・講師

研究者番号：70633395

中下 富子 (NAKASHITA, Tomiko)

埼玉大学・教育学部・教授

研究者番号：50398525

西岡 かおり (NISHIOKA, Kaori)

四国大学・生活科学部・准教授

研究者番号：60441581

矢野 潔子 (YANO, Kiyoko)

静岡大学・教育学部・准教授

研究者番号：80549163